

令和3年3月11日

民生常任委員会会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 令和3年3月11日
開会 16時40分 閉会 17時05分
- 2 場 所 幕別町役場3階会議室
- 3 出席者 委員長 野原恵子 副委員長 岡本眞利子
委員 石川康弘 内山美穂子 酒井はやみ 千葉幹雄
議長 寺林俊幸
- 4 傍聴者 小島智恵 荒貴賀 谷口和弥 中橋友子
- 5 事務局 事務局長 萬谷司 議事課長 半田健 庶務係長 遠藤寛士
- 6 審査事件及び審議内容（別紙）
 - 1 付託された議案の審査について
 - (1) 議案第25号 幕別町総合介護条例の一部を改正する条例
 - 2 所管事務調査項目について
正副委員長に一任することにした。
 - 3 政策提言について
定例会最終日に議長に提出することを確認した。
 - 4 所管事務調査報告書について
修正等があれば報告していただくこととした。
 - 5 その他
 - (1) 閉会中の継続調査申し出について
別添(案)のとおり提出することを確認した。

民生常任委員会委員長 野原恵子

◇審査内容

(開会 16:40)

○委員長(野原恵子) ただいまから、民生常任委員会を開会いたします。

これより議事に入ります。2日の会議に引き続きまして、本委員会に付託されました議案の審査であります。

付託されました議案の審査を行います。議案第25号、幕別町総合介護条例の一部を改正する条例を議題といたします。本件は2日の委員会で、説明、質疑が終了しておりますので、本日は各委員のご意見をいただきたいと思っております。

意見のある方は挙手をお願いいたします。

酒井委員。

○委員(酒井はやみ) 今回の保険料の改定は、収入の差で大小あるのですけれども、全ての高齢者の保険料を値上げするというものです。私はこれ以上、収入の低い高齢者に町から新たな負担を求めることはやるべきではないと思っております。

理由の一つは高齢者の皆さんから、介護保険の負担が重いとの声をたくさん聞いているからです。年金は下がる一方なのに、食材も消費税も上がる、年金では生きていけないという声や介護保険の負担が重い、年金から天引きされるために、年金の手取りが減っていくという声が聞かれます。

確かに年金は物価スライドが導入されたためにこの4月から国民年金でも66円減額になり、厚生年金も228円減ります。消費税も一昨年に8%から10%に引き上がり、食材費も高騰しています。

さらに医療費の面でも後期高齢者の医療費の軽減措置が一部廃止されたり、年収200万円以上の人は病院の窓口負担が1割から2割へ倍化するということが決められています。

そして今、このコロナ禍でこれからの生活の先行きも見えづらい。そんなときに町にまで100円とか300円とかではあっても、出せと求められる。

そのこと自体が金額の問題だけでなく、負担感や先行きへの負担を増幅させかねないと思えます。

これまで、町づくりを支えてこられた高齢者の皆さんにそうした思いをさせないために町の一般財源からの繰入などで、何とか所得の低い高齢者に新たな負担を求めなくてすむ代替え案を考えてほしいと思っております。

二つ目の理由は、介護保険の保険料の上がり方が普通ではないと思えるからです。

20年前の平成12年度、介護保険のスタート時は、標準額は月額3,033円でした。これが、今回5,700円に倍近くまで上がることとなります。20年で2倍に上がったものが他にあるかと思えるのですけれども、この異常な上がり方に介護保険制度そのものに問題点があることが示されていると思っております。

保険制度を支える財政は、国と道と町の公費が半分、保険者の保険料が半分となっているため、サービスを受ける高齢者が増えたり、施設が増えれば、その分、保険料に跳ね返ってくる仕組みになっています。

こうした仕組みになっているため、主要自治体の9割の市長が現行のまま制度を10年続けることは難しいと認識していることが報道されてもいます。

国に負担割合を引き上げるよう求めるとともに、これ以上、保険者に負担を求めなくてすむ手立てを考える必要があると思っております。以上です。

○委員長(野原恵子) 酒井委員から今、意見を出していただきました。

ほかにご意見のある方、いらっしゃいませんか。

岡本委員。

○委員（岡本眞利子） 今回の介護保険条例の一部を改正する条例につきましては、保険料の引き上げでありまして、この2021年から3年間の300円の引き上げということですが、この3年間、高齢化率はさらに高くなるわけでありまして、高齢化率が高くなるのは明らかでありまして、この方たちが介護保険のサービスを利用できるようになるわけでありまして、

もちろんサービスを利用せず、元気で住み慣れたこの町で暮らしていただけることが一番ではあるとは思いますが、全てがそういうふうになるわけではないと思いますので、今回の引き上げについては基金を取り崩して何とか5,700円に収めているということは理解できると私は思います。

芽室町などは340円引き上げて、管内では一番高い6,380円になるというところもあります。そういうことを鑑みますと、本町では1億3,300万円の基金を取り崩して、5,700円というギリギリのラインで止めているという、努力したのではないかなと私は感じました。

○委員長（野原恵子） ほかにございませんか。

内山委員。

○委員（内山美穂子） 私も岡本委員と同じように前回、説明を受けまして、300円引き上げて5,700円になるということでありました。保険料が上がるというのは、利用する側としては、大変なことはすごく理解できることなのですけれども、町としては介護給付準備基金を取り崩して、5,700円でこの3年抑えていくということでしたので、良いと思います。

○委員長（野原恵子） ほかにございませんか。

千葉委員。

○委員（千葉幹雄） 前回、賛成討論みたいな話をしてしまったのですけれども、この制度、いずれにいたしましても介護を利用する人にとっては非常にありがたい制度だと思うのです。要するにサービスを受けた総量を割り返すという仕組みですから、ある程度、高齢化になってきて、サービスの質が高くなっていく、重くなっていくと当然料金が増えていくわけですから、やむを得ない。これも社会現象の一つだろうと思うのです。

この中身を見ると工夫というか、所得の低い人たちは値上げを抑えて、高いところに多く求めている。そういう工夫もしている。そして、所得段階の7、8、9くらいのちょうど中間のところを若干見直しして、激変緩和というのか、本来であれば、一段上になるところを抑えたという工夫も見られますので。

私は上がることはあまり良いことではないのですけれども、ただトータルとして考えるとやむを得ないのかなと認識をしております。

そして、先ほど岡本委員からもお話ありましたとおり、この基金も逆に全部取り崩して大丈夫かなと心配するくらいなのですけれども、432円くらいの、基金を取り崩すことによって、さらに抑えるという工夫もしておりますから、諸手を上げて賛成とまでは言いませんけれども、やむなしかなという思いでおります。

○委員長（野原恵子） ほかにご意見ございませんか。よろしいですか。

（なしの声あり）

○委員長（野原恵子） ほかに意見がないということで、議案第25号に対する意見は以上で終了いたします。

続いて、討論を行います。原案に反対する討論はございませんか。

酒井委員。

○委員（酒井はやみ） 先ほど発言した理由で、反対します。

○委員長（野原恵子） 反対の意見が出ました。それでは、賛成の討論はございませんか。
千葉委員。

○委員（千葉幹雄） 重複は避けませけれども、先ほど言ったような理由で、やむなしと
いうところであります。

○委員長（野原恵子） なければ、これで討論を終了いたします。

これより、採決をいたします。

議案第25号、幕別町総合介護条例の一部を改正する条例は、原案のとおり決することに
ご異議ございませんか。

（異議ありの声あり）

○委員長（野原恵子） 異議がありますので、起立採決をいたします。

議案第25号、幕別町総合介護条例の一部を改正する条例は、原案のとおり決することに
賛成の方の起立を求めます。

（起立多数）

○委員長（野原恵子） 起立多数であります。したがって、本件は原案のとおり、可決い
たしました。

なお、本件の報告書につきましては、委員長と副委員長に一任していただきたいと思
いますが、よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○委員長（野原恵子） それでは、そのようにさせていただきます。

インターネット中継終了のため、暫時休憩といたします。

（暫時休憩）